

表 5 - 6 常用雇用身体障害者の今後さらに改善・充実・整備が必要とする事項(複数回答：2つまで)
(%)

	10	20	30
労働条件		19.6	
通勤面での配慮	8.5		
コミュニケーション手段			27.0
作業を容易にする設備・機器		17.2	
職場介助者の配置	4.6		
能力に応じた評価・昇進			30.0
能力が発揮できる仕事の配慮		19.8	
教育訓練、研修の充実	8.9		
安全対策の充実		15.0	
健康管理体制の充実		11.9	
福利厚生面の充実		13.5	
その他	6.8		

(「改善等が必要」とする者=100)

ヘ 主な相談相手

仕事や職場に関して悩みや不安を抱いたとき相談相手がいる者は81.3%で、相談相手として最も多いのが家族・親族で43.6%、次いで職場の同僚や友人が35.5%と多くなっている。

特に相談する相手がいない者が18.7%である一方、支援機関へ相談する者が少ない状況にある。

表 5 - 7 常用雇用身体障害者の職場で困ったときの相談相手 (複数回答：2つまで) (%)

	20	40	60
職場の上司や人事担当者		30.6	
職場の同僚・友人			35.5
職場以外の友人・知り合い	20.2		
家族・親族			43.6
公共職業安定所・職業センターの職員	1.6		
福祉機関・施設の職員	1.3		
学校の先生	0.6		
障害者団体の相談員	1.4		
その他	3.5		
特にいない	18.7		

ト 職場以外の生活

職場外でどのように過ごしていますかという問に対して、家族や親戚と過ごすと答えた者が64.0%と最も多く、次いで「趣味の共通した人との付き合い」が42.3%となっている。一方、1人で過ごすとした者の割合は20.8%となっており、単身生活(10.4%)の割合を超えている。